令和5年度 秋津小学校 学校評価表

学校教育目標	「勉強大好き 友だち大好き 運動大好き」～内から育つ自己解決力の獲得をめざして～
本年度重点目標	「わかった、できたがあふれる授業づくり」～「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して～

領域	中項目	小項目	具体的評価項目標	取組（指標）	小項目の評価	中項目の評価	成果	課題	改善方策	学校関係者評価
Ⅰ教育活動に関するもの	(1)教育目標・教育計画	②教育計画の作成	教育目標が達成できるよう具体的な計画が立てられている。	学習指導要領に基づいた教育課程が編成され、児童の実態に応じた授業を実施する。	4	4	研修部が中心になり、四則計算の指導法や発表の仕方、朝学内容を統一するなど児童がわかる授業に向けての取組ができた。	朝学については、各学級の実態に合わせて教材を作ったり、評価したりすることが難しかった。	取組が継続して行えるよう、研究主題と併せて検討していく。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(2)教科指導	③指導方法の工夫改善	児童にとってわかりやすい授業になるよう有効的にICTを活動するなど、指導方法の改善に努めている。	ICTの有効的な活用能力の向上に取り組む。主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善に取り組む。	4	4	研究授業を行い、指導主事の先生より指導助言をもらったり、ICTを活用した研究討議を行ったりして研修が深まった。	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた効果的なICT活用による授業改善についてはこれからも考えていく必要がある。	来年度も全教職員が研究授業に参加できるよう計画し、普段の授業も気軽に参観できる環境を整備していく。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(3)道徳・特別活動	①指導計画の立案	特別の教科道徳において目標を明確にした指導計画が作成され、児童や地域の実態に即した指導を行っている。	各学年を通じて、児童の自主性や自立（律）心、人権や生命を尊重する個々の育成に配慮した児童を行う。	4	4	年間指導計画をもとに、各学年で内容項目にそった授業を行うことができた。	まだまだ、「やる気がない」「すぐに諦めてしまう」など、児童の自主自立を育むためには課題がある。	今後も、家庭・学校・地域も含め協力しながら、子どもたちの自主自立を育む環境づくりを進めていく。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(4)総合的な学習の時間	①学習指導計画の立案	児童の興味関心を大切にし、地域の特性に根ざした内容が重視されている。	人権や生命、地域の発展などについて、主体的、創造的に取組、自己の豊かな生き方につながる学習内容を展開する。	4	4	お米作りや命の教育など、地域の方や関係機関の協力のもと体験的な学習に取り組むことができた。また、御所実業高校とも連携し学習に取り組むことができた。	ICTも活用しながら、情報活用能力の育成にも取り組んだが、まだまだ情報を整理・分析し、まとめ・表現する力には課題がある。	児童の実態にあった内容であるか１年間の取組をしっかりと振り返り、より効果的な学習となるよう準備する。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(5)人権教育	③指導方法の工夫改善	命の大切さを知り、たくましく生きる力と生命を尊重する心を育む指導方法の工夫改善が図られている。	校内人権教育推進計画に基づき、丁寧な取組を行う。	4	4	早寝早起き朝ご飯を推奨し、自分たちでも朝ご飯の準備ができるよう、おにぎり作りに取り組んだ。	人権教育について「あすなろ通信」を発行し、保護者へ周知していたが、児童が渡していないということもあり、うまく周知することができな	家庭とも連携し、学校及び家庭での児童の様子を共有しながら今後も人権教育を進めていきたい。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(6)生徒指導	①組織的な生徒指導	諸問題が発生したときは、学校全体で組織的に対応できる体制が整っている。	諸問題が発生したときは、教職員で共通理解をし、学校全体で取り組む。	4	4	諸問題が発生したときは、教職員で共通理解を図り、「気付き見守りアプリ」も活用しながら学校全体として取り組むことができた。	単学級ということもあり、担任任せになっていたこともあった。	小さな課題においてもしっかりと教職員間で共通理解をし、関係機関とも連携しながら、学校全体で取り組んでいく。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(7)進路指導									
	(8)特別支援教育	①組織的な特別支援教育	校内委員会を通して組織的な支援体制が構築されている。また、教職員で共通理解がなされている。	配慮を要する児童についての共通理解のもと支援にあたる。	4	4	配慮が必要な児童については、教職員間でしっかりと共通理解をし、関係機関とも連携しながら一人一人のニーズにあった支援ができた。	学校生活全てにおいて配慮することは難しく、時間、人数にも限界があるので対応が難しい面もあった。	時間割をうまく調整しながら、一人一人のニーズにあった支援ができるよう環境を整えていく。	今後も継続した取組をお願いしたい。

領域	中項目	小項目	具体的評価項目標	取組（指標）	小項目の評価	中項目の評価	成果	課題	改善方策	学校関係者評価
Ⅱ学校運営に関するもの	(1)組織運営	②学校経営目標・方針	学校教育目標や運営方針について教職員の共通理解が図られている。	組織の各部門やメンバーの役割と責任を明確にし、相互の連携を図る。	4	4	学校教育目標や運営方針に基づいて校務分掌のそれぞれの業務を行うことができた。	それぞれの部で総括を行い、来年度に向けてよりよい学校を目指し準備していきたい。	総括によりでてきた成果や課題をしっかりと教職員全員で共通理解のもと来年度に活かしてい	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(2)研究・研修	③授業研究	学校内で他の教員の授業をもとに研修を深める機会がある。	年間必ず2本の授業研を行い、特別支援教育についても授業研を実施している。	3	3	今年度は、研究主題を達成するために算数科を中心に授業研究を行った。	まだまだ教員主導の授業展開となり、研究主題を達成させるために教職員全体で教科研究を進めていく必要がある。	公開授業に限らず、普段からお互いの授業を見合い、交流できる環境づくりを行う。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(3)安全管理	④安全指導の工夫改善	登下校の安全確保に努める。	地域の方々と連携し協力を得る。教員による定期的な児童の引率を実施、指導がなされている。	3	3	月に1回登校指導及び下校指導を行い児童の安全な登下校について指導できた。	集合時刻に遅れてきたり、下校途中で先に帰ったりすることもあり、集団での登下校が出来ていない	児童一人一人が安全な登下校の大切さを自覚できるよう日頃から各学級においても指導して	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(4)保健管理	③健康観察、健康管理能力の育	様々な感染症への感染予防及び児童の健康管理が徹底されている。	毎朝の健康観察、早寝早起き手洗いの意識付け、定期的な保健指導などが実施されている。	4	4	毎学期、「のびーる大作戦」という生活習慣を改善させる取組を行うことができた。	高学年になるにつれ、早寝早起きができていない児童が3割程度いる。	保護者とも連携し、児童の成長についての情報を今後も発信していきたい。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(5)地域との連携	①学校情報の発信	学校だより・学年だより・HP内のブログやあすなろ通信、図書館通信等を通して、教育方針や学校の様子を地域に発信されている。	毎月1回の学校便り、HPやブログの更新。各種団体組織との連携。	4	4	地域とも連携しながら、学校運営に取り組むことができた。	各団体の高齢化が進み今後の後継者を見つけていくことが課題である。	今後も学校の様子をいろいろな形で発信していき、地域の方々に協力いただく。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(6)施設・設備	③施設設備の管理	定期的な安全点検を通して、安全安心な学校づくりがされている。	定期的な安全点検を行う。課題の早期解決を行う。	4	4	月に1回必ず全教職員で安全点検を行うことができた。	学校だけでは修繕が難しい箇所がある。	安全で安心な学校生活が送れるよう市教委とも連携をとっていく。	今後も継続した取組をお願いしたい。
	(7)情報管理	①公文書の収受・保管	迅速かつ適正な公文書の収受及び保管に対する管理がなされている。	速やかに受理し、必要な処理を行っている。保管場所を明確にし、適切に保管している。	4	4	適正かつ迅速に公文書の管理を行うことができた。	監査においても大きな指摘はなかった。	今後も適正な公文書管理を実施していく。	今後も継続した取組をお願いしたい。